

歴史まちづくりに係る主な意見と対応

テーマ	主な意見	対応
活用方法	まちづくりコンサルタントが使うなどの具体的な活用方法を考えてはどうか	市町職員やまちづくりコンサルタント等が住民説明を行う際のツールとして活用
	ガイドブックを誰に配るかよりは、誰が地域の人等に説明するのかというシーンを考えてほしい	
体裁	教科書的で文章が硬い。誰に読んでもらうのかを考えて柔らかくすべき	まちづくりのすすめ方をイメージできるように、平易な言葉や図を用いて作成
	中学生、高校生など、誰を対象として作成するべきか考える必要がある	
対象	全ての地域を対象にせず、地方都市をターゲットに絞った方がよい	地方都市をはじめとした、歴史的資源が残る地域が対象
	地方都市では、少ない負担でビジネスにチャレンジ可能。地方都市だからこそ、自分たちでも始められるという前向きなストーリーを作ってはどうか	「建物を使う」に記載(P. 14)
	まちづくりの核は行政。やる気のある市町に対して働きかけをしてほしい	加西市や三木市をはじめ、市町に対して働きかけを行う
	歴史的建造物がない場所では関係がないと受け取られてしまうのではないか	歴史的建造物以外の活用も記載(表紙、P. 4~5等)
(全般) 記載内容	最初のきっかけを理解してもらうのは大事だが、もっと詳しく知りたい人には対応していない	まちづくりへの気づきや第一歩を踏み出すことに重点を置いて作成
網羅的に書くのではなく、まちづくりへの気づきを理解してもらうような手がかりとして作成してはどうか		
(事例) 記載内容	三木市では他にも成功事例があるので、情報収集してはどうか	三木市の事例を追加(P. 12、17)
	どうやって仲間を増やすのか、初期費用をどう調達するのか、反対者の説得方法などの事例を示せば、具体的なアドバイスになる	「仲間を見つける」(P. 20)、「活動を支える資源(人・物・資金)の確保について」(P. 15)に記載

テーマ	主な意見	対応
	<p>事例紹介は、単なる結果だけを記載するのではなく、きっかけ・まちづくりの担い手・最初の取組・結果の具体的な情報が必要</p> <hr/> <p>まちづくりに取り組もうとする人は、成功事例のきっかけ・モチベーション・障害の乗り越え方等の具体的な情報を知りたい</p>	事例集に具体的な情報を記載
(その他) 記載内容	<p>地域内の人とは異なる、地域外の人から見た観点でまちづくりに取り組むことが重要</p>	「仲間を見つける」(P.20)に記載
	<p>地域の中で目立ちたくない・浮きたくないこと等を理由に、まちづくりへの協力を断られることもあることを記載すべき</p>	「仲間を見つける」(P.20)に記載